



第24回千葉県建築文化賞

建築文化の向上に寄与

厳選された県内9点を表彰



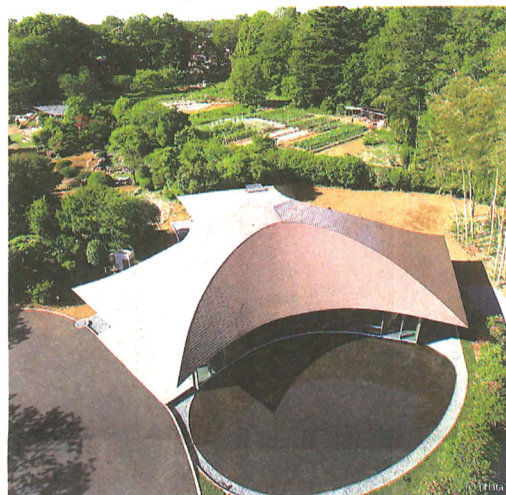
高橋副知事

県は、第24回となる29年度の「千葉県建築文化賞」の表彰式を3月20日、千葉市中央区の県自治会館大会議室で厳かに執り行い、今回応募のあった81点の中から厳選された9点の受賞作品の建築主と設計者、施工者らに高橋副知事から表彰状が贈られた。平成6年度に創設された同賞に輝いた受賞者らに対し高橋副知事は「いずれの作品も県の魅力を高め、地域の活性化に貢献する素晴らしいもの」と惜しみない賛辞を贈った。

高橋副知事「県の魅力高め、活性化に」

「千葉県建築文化賞は、建築文化や居住環境に対する県民の意識を高め、潤い

と安らぎに満ちた快適なまちづくりを進めることを目的として、平成6年度に創設されました。第24回となる今回は、81点の応募をい



梅郷礼拝堂 (撮影:畑拓)

ただき、千葉県建築文化賞検討会議による検討内容を踏まえ、最優秀賞1点、優

秀賞5点、入賞3点、合わせて9点の作品を選定致しました。



加藤建築設計事務所(上)と小島建設

るとともに、より良いまちづくりの推進に寄与していることを心から期待しています。

今後とも県では、誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりを進めてまいりますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

▽講評Ⅱ
農地と林に囲まれた霊園の一角に立つ宗派不問の礼拝堂である。玉すだれ状の組柱によって支えられた大屋根が、曲線を描く凸型プランの空間を抱き込み、開放的なファサードが周囲の景観と視覚的な一体感を生み出している。地域に対して開かれた寺院として、さまざまな催事にも活用されている。

▽施設Ⅱ
(株)渡辺富工務店(東京都新宿区)

▽講評Ⅱ
農地と林に囲まれた霊園の一角に立つ宗派不問の礼拝堂である。玉すだれ状の組柱によって支えられた大屋根が、曲線を描く凸型プランの空間を抱き込み、開放的なファサードが周囲の景観と視覚的な一体感を生み出している。地域に対して開かれた寺院として、さまざまな催事にも活用されている。

■優秀賞

(一) 一般建築物の部

●梅郷礼拝堂(野田市大 殿井220-1)

▽建築主Ⅱ宗教法人 大 師山 報恩寺(野田市)、 榎笹川(東京都豊島区)

▽設計Ⅱ加藤建築設計

いづれの作品も、千葉県 の魅力を高め、地域の活性化に貢献する素晴らしい作品と言えます。これらの建築物が地域の中で親しま